



2021年3月

No.322号

治安維持法賠
同盟島根県本部

〒693-0033

出雲市知井宮

町750-2

小玉信恵

☎・ファックス
0853-23-3829

斐川寅吉

軍歌と戦争

治安維持法が現代の2020年秋季頃の日本「歌は戦争を忘れない」と古蘭裕氏と重歌を興味深く読んだ。著者と私は同年代である。私が国民学校2年生の夏、戦争は終わった。生まれる前から、中国との全国戦争が始まっており、その同級生の中で「勇」君が2人「勝子」さんとが2人いて、父親が戦死した遺骨がおめでたし。

当時、戦争に関する次のよみな言葉を知っていた。爆弾、勇士、神風、予科練、赤いさば（練習用飛行機）、特攻隊ある時、母に「お父、特攻隊になる」と聞いたことがある。ほめられる」と思って期待して、したのとばかりかはじけ返事をしがなつたので不穏を思つたことを覚えていく。

戦争末期で「一億総特攻」と呼ばれ、現実に予科練出身の若者がどんどん特攻隊員として死んでいくので、母は私の言葉を單なる子供の夢としてではなく、かなり現実性の高いものとして受け止めていたかもしれない。

特攻隊が初めて出撃したのは昭和1年の年秋だが（終戦のヶ月前）、「初陣の采」を命ぜられたのは、神風特攻隊「敷島隊」の52歳である。隊長は斐川寅吉と云う学校生のエリートだが、他の44歳あるな等、練出車の19才と云うのが若者である。もつと

も、隊長は30代だったりする。唯、新婚5ヶ月の妻を残していた。

今頃、小学校の集団登校を厭う心地を感じ玉こし懐かしい。もつとも、今と遡つて戦争の時代であるから男女両性の集団で、軍歌をうたいながら軍隊のように行進シテいた。

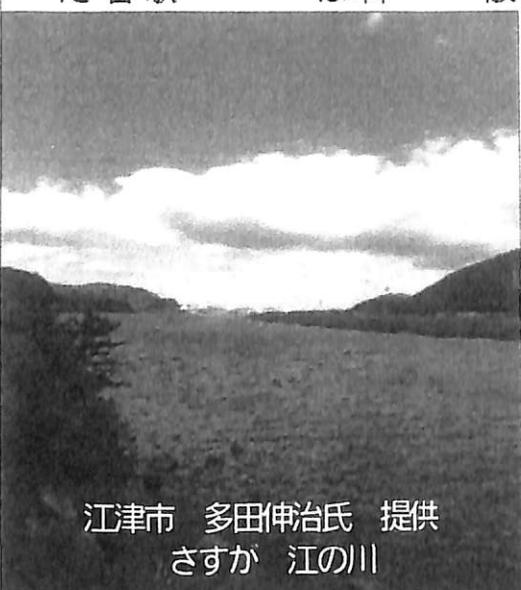
私は重歌がわからず必死に上級生の真似をしたが、第一節しか歌えず悔しかつた。また、いつになつたら上級生のように歌えるのが不安で、いっぱいだった。

たつた一つ、第一節を歌えたのは「万だの桜とえりの色」といつのだった。戦後、あひを復元しようと努めたが、とうとうわからぬじまいで、曲名も不明のままである。

万だの桜と
えりの色。
花は吉野の
○○○○咲く

サンペイ線
(?) の花と散
れ

ところが、予科練の歌（正式には「若鷺の歌」）、はいつの間にか、覚えて歌つていた。それだけ、曲と歌詞も歌い易い「名曲」であったのだ。



る。右側の「山嶋」という歌によつて、前項句の「それがこの少年が子孫續んでゐるが、特攻隊で死んでいたのがわかつた。

昭和の「山嶋」は、戦争中、数々の軍歌の「山嶋」を作曲した山嶋裕吉がモハルだけを出した。しかし、特攻隊とか、戦争責任は全く觸れず、むつかに、予科練の歌を作曲した山嶋が、予科練を訪問した一人だけがあり、アリバイつくりにしてお原さんもかつた。

もつとも、そんなことを考へる人は、もへ、ほんとうに存在していいしないかもしねば。

2021.1.10

「西比田小学校訪問記」

松江支部　西屋文次

少し前の2020年12月某日、向田安来市議と一人で折から山嶋（山嶋の遺道を安来市の一農園地）に向かいました。昨年からの数回にわたって取り組んで来た「能義館」における戦前の「綴り方教育」への弾圧の歴史発掘の調査活動も、ひとつ山嶋をもがきました。

なじが「山嶋」から山嶋のまゝへましの西比田小学校は戦

の対象となり、そのつたえが起訴され、その中でない、この村社が裏見を受けてします。村社につけては眞の回答が「被弾者（綴り方）のストップのプロジェクト」を立ち上げつありますので、その中で解説してしまひたところ難をつける。）などがござました。

そしてついで、今回ある程度、「椿清子」「山崎カメノ」の一人にしあつての調査といつたが、この一人が現地の比田や布部が出生地であり、よみ生れた情報が極めて可能性があるとしていつたがござった。

さて、校長室での面談の冒頭、校長先生から「依頼を受けていた昭和初期の綴り方の作文を探しましたが現存しておりませんでした」との言。そのふたつの理由（原因）でもあります。なにしろすでにこの年近くも経過しているわけですから。そして先生から「その代わり、ですが、昭和51年発行の『西比田小百年史』を贈呈させてください。一応該当するよかつた箇所は解りよめつてやれました。」と差し出された「謹」を見ると何枚もの付箋が貼られていました。

そしてその箇所をその場で一瞥させてもひづり、「椿清子」氏はその後東京に鷹の爪で講義しなれたとか、何時かの興味深い文に手が止めたのです。なぜか「那时非常に優秀な先生に書かれていた。が、その先生たちのうちが続々と「赤い教員」というレッテルで検挙されていった。(原文ママ)」と同時に状況をそのまま記憶として書かれていた方の文もありました。

また校長先生から、「山崎カメノ氏は、元は上廻カメノで地元の比田のその姓が何軒があるので、それとなく情報をたよてみおか・・との連絡をついただきました。松江市から、體育を始めた「西比田小百年史」の由身

として平井英雄（これも昨年、松江市本庄町に在住の長男さんへの訪問の様子は、本紙にて報告。なお、平井英雄氏の子息のお一人は同盟の会員である平井謙です）。

そしてこれららの教師たちの指導者でもあった村社（むらい）そ）宏（当時県下で70名の教師が弾圧

のせいでが現地の元生徒たの方のつねづれです。それを読み進める内に、文章が実に豊かで情もあって胸にせまるものがあります。そして「この方たちの文章も「綴り方ではないか」との想いが湧いてもあ。今後は比田地区の公民館の広報とか、安来市の広報などにも依頼して次の鉛筆をせある。・などの思

いが立ちます。
どうしても現物にたどりつけたい。それは加納美術館の館長さんが、「可能なら青木実二郎の実践の子どもたちの絵を美術館の企画として取り組みたい」と私達一人に言われた言葉。もしその際、綴り方の作文の現物資料を並べての展示などにならないか素晴らしいことかと喜ぶ道々一人で語り合いました。

なまなみ、綴り方と標題は双方の兄弟姉妹であるからです。

(追記1)・・なむ、椿清子氏の東京三鷹での正念識真としての活動を知るひとへも、何らかの手を打つて行きたいと考えています。

(追記2)・・当時の弾圧は治安維持法の下で行われたと考えられます。が、70名の教員への警察連行、7名の起訴処分、1名の実刑は過去の文献にたよつているわけですが、私達の手であわせて個別の人名の全体調査にも手をつけたいと思つます



(3)



(2)

当時、積畫量の多い「山嶋」で最も出田田川を走つて600ヤンチの車でした。が、天候から山嶋が陽光に輝く轍に走つたがために、特攻隊とか、戦争責任は全く觸れず、むつかに、予科練の歌を作曲した山嶋が、予科練を訪問した一人だけがあり、アリバイつくりにしてお原さんもかつた。

昭和の初頭、当時比田小学校は「伊藤塾」(奥田重(馬木)の標題教育の創始者である青木実二郎(昨年すでに本紙にて報告)の孫の宗一氏が、「祖父は能義館の伊藤塾」という教師と標題について交流していくたまつて何回も電話を聞いた」と私達に語られたいた物)。

そして平井英雄(これも昨年、松江市本庄町に在住の長男さんへの訪問の様子は、本紙にて報告。なお、平井英雄氏の子息のお一人は同盟の会員である平井謙です)。

昭和の初頭、当時比田小学校は「伊藤塾」(奥田重(馬木)の標題教育の創始者である青木実二郎(昨年すでに本紙にて報告)の孫の宗一氏が、「祖父は能義館の伊藤塾」という教師と標題について交流していくたまつて何回も電話を聞いた」と私達に語られたいた物)。

（連載）長・近田にオルグ

「不屈」記・高畠謙次

一回未だお仕事未だ本音は原露氏を回りして半田・近田の本音有志の会へおもかがきました。おお豊の幹事である西村健氏（近田市会議員）と近田文部の文部活動の確立について續々意見交換しました。また近藤十代子の映画完成の取り組みについては大いに力を入れたいとの弁をいたしました。いずれにしても「この夏おじいさま、支給継続をめぐらして体制を確立する」といひだされました。

続いて加藤幸子さんと顔をました。加藤さんは「回響の署名」を例年一ページ200筆といじ集められる方であり、先般から不屈・豊賀で俳句の紹介を始めた夫であった故・加藤昭氏の歌集（遺稿集）を奥の回響に寄贈いただいた方でもあり、そのことのお祝いも兼ねての訪問でした。

加藤さんはかわいがれ顔をして「どう後こうさ「すゞり40筆」…」の連絡を入れました。かく一軒路の途中、今更宇を訪問。奥ささき新婦人の有力な活動家であり、加藤幸子さんをサポートされながら女史の存在など、人材には事欠かない近田の様子に、「どうか今後とも開く可能性を感じさせていただけました。（連記・千代子の本音の連書及田業もした。もつて持つて行けなかつた。）



出雲市
ささき新婦人
氏提供
チゲ

先般、2月末にわたくし高取と原露氏で御田中にお越やみに伺いました。無宗教のふたりは壇をあつめさせてでしたが、7年前に先立たれだり生人の武氏の遺骨が並んでおり、ご家族は一人の意図を受けて今散骨の手配をして下さる。遺影はあるのにこやかな笑顔でしたが、私どもは想いを重ねられて少しこまかに引かない凜とした高木さんの遺影の口々が思ひ出されました。そして帰り際、島主の種典さんから「うるんなものを作りました」と小ぶりな手作りのパンツを直戴しました。高木早苗さん本人が書かれた自伝でした。

不屈・豊版への掲載も心わせて快諾をいただきました。戦後のレッドパージの弾圧を受けられた高木さんの文章から、戦前の治安維持法による弾圧が戦後どのような形で引き継がれて行ったのか、私も学ばせていただく考え方です。これまでいたるところ、改めて「眞福をお祈りいたしました。

